

豊岡市監査委員 羽 尻 知 充  
豊岡市監査委員 中 嶋 英 樹  
豊岡市監査委員 西 田 真

### 定期監査及び行政監査結果報告について

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査及び行政監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果を報告します。



## 定期監査及び行政監査結果報告書

### 第1 監査の種類

地方自治法第199条第1項の規定に基づく財務監査を第4項の規定による定期監査として、併せて第2項の規定に基づく行政監査を実施した。

### 第2 監査の対象

#### 1 監査の対象

〔教育委員会所管施設〕

弘道小学校、福住小学校、小坂小学校、小野小学校、資母小学校、合橋小学校、出石幼稚園、福住幼稚園、資母認定こども園、合橋認定こども園、八条放課後児童クラブ及び弘道放課後児童クラブ

#### 2 対象期間と範囲

令和6年4月1日から8月31日現在までの上記各施設の財務及び一般行政事務に関する事務の執行

### 第3 監査の着眼点

今回の監査は、上記の教育委員会所管に係る施設の事務を対象に、主に予算執行その他の事務の処理状況、現金・物品の出納及び保管状況並びに施設管理の状況等を重点に、令和6年8月31日現在の監査要求資料等に基づき、それぞれの事務が関係法令等に準拠し、かつ適正・的確に行われているかを試査した。

### 第4 監査の主な実施内容

監査委員事務局職員による事前監査（予備調査）をヒアリング形式により実施するとともに、監査委員による監査を実施した。

#### 1 事前監査実施日 令和6年10月8日、10日及び11日

- (1) 監査要求資料〔所管課（教育総務課・学校教育課・幼児育成課）一括分及び各学校・園分要求資料〕、関係帳簿及び書類の提出を求め、事前監査点検事項（チェックシート）を作成した。
- (2) 支出負担行為伝票を抽出調査し、内容を聴取・確認するとともに、財務会計システムにより予算全体の執行状況を確認した。
- (3) 学校（園）要覧、職員体制及び主要な特別活動の概要について説明を受け、運営状況等について確認した。
- (4) 実態調査表及び自己点検シートに基づいて、状況等内容を聴取した。
- (5) 備品の購入及び管理状況について、備品台帳等により確認した。
- (6) 資金前渡金について、内容を聴取し処理状況の確認を行った。郵券受払簿及び保有数量の確認を行った。
- (7) 学校徴収金の内容や予算の執行状況等について、通帳等により確認した。

#### 2 監査委員監査の実施日 令和6年10月22日、23日及び28日

- (1) 事前監査（予備調査）の結果を踏まえて行った。
- (2) 監査委員名 監査委員 羽尻 知充、監査委員 中嶋 英樹、監査委員 西田 真
- (3) 基 準 等 豊岡市監査委員監査基準及び実務ガイドライン（全国都市監査委員会編集）

## 第5 監査の実施場所及び日程

- 1 実施場所 各学校及び各園執務室並びに現地
- 2 監査の期間 令和6年9月4日から11月22日まで

## 第6 監査の結果

監査の結果、おおむね適正な事務処理がなされていると認められた。しかし、事務の一部について、留意及び改善を要する点が見受けられたので、それぞれ必要な措置を講じ適正な事務処理に努められたい。

なお、今回の監査における要望事項等は、「第7 監査の総括及び所見」に述べているとおりであるので、今後、対応等検討されたい。

また、軽易な注意事項等についてはその都度口頭で改善指導したので、記述を省略した。

以下、監査の結果は次のとおりである。なお、文中及び各表中の係数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

### ◎教育委員会

- －弘道小学校、福住小学校、小坂小学校、小野小学校、資母小学校、合橋小学校－
- －出石幼稚園、福住幼稚園－
- －資母認定こども園、合橋認定こども園－
- －八条放課後児童クラブ、弘道放課後児童クラブ－

### 1 小学校の概要

各小学校の概要（令和6年8月31日現在）は次のとおりである。

学校名	設立年度	現施設建築年度	敷地面積	建物延床面積	教室等の構造	集会・教室数
弘道小学校	明治5年度	平成2年度	37,690m <sup>2</sup>	4,519m <sup>2</sup>	RC造2階建(管理棟) 木造2階建(教室棟)	20室
福住小学校	明治7年度	昭和61年度	15,928m <sup>2</sup>	2,884m <sup>2</sup>	RC造3階建	13室
小坂小学校	明治6年度	平成14年度	15,906m <sup>2</sup>	4,400m <sup>2</sup>	RC造2階建	15室
小野小学校	明治8年度	昭和62年度	26,713m <sup>2</sup>	2,783m <sup>2</sup>	RC造3階建	12室
資母小学校	昭和43年度	昭和56年度	15,413m <sup>2</sup>	3,421m <sup>2</sup>	RC造3階建	16室
合橋小学校	昭和43年度	平成元年度	22,070m <sup>2</sup>	3,032m <sup>2</sup>	RC造2階建	13室

※ RC造は、鉄筋コンクリート造

(単位：人)

学校名	職員数	学級数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
弘道小学校	26	8学級	30	23	26	29	30	34	6	178
福住小学校	20	7学級	9	16	17	9	21	21	3	96
小坂小学校	19	8学級	10	9	13	11	10	17	5	75
小野小学校	15	7学級	7	6	8	10	11	12	1	55
資母小学校	15	7学級	6	7	7	9	9	9	2	49
合橋小学校	17	8学級	5	8	17	5	18	15	4	72

※ 職員数には事務職員、校務員等を含む。

## 2 小学校予算の執行状況

各小学校へ配当された予算の執行状況(令和6年8月31日現在)は、次のとおりである。

(単位：千円)

区分	弘道小学校		福住小学校		小坂小学校	
	予算額	執行済額	予算額	執行済額	予算額	執行済額
学校振興費	106	0	75	0	66	0
小学校管理費	7,101	2,744	6,282	2,077	6,362	2,290
需用費	6,341	2,478	5,658	1,854	5,682	2,008
消耗品費	1,737	841	1,309	547	1,218	547
燃料費	500	53	659	22	145	40
食糧費	4	1	4	2	4	0
印刷製本費	20	0	16	0	15	0
光熱水費	4,080	1,583	3,670	1,283	4,300	1,421
役務費	340	143	219	62	215	63
備品購入費	420	123	405	161	465	219
小学校教育振興費	14	11	14	14	14	14
合計	7,221	2,755	6,371	2,091	6,442	2,304

区分	小野小学校		資母小学校		合橋小学校	
	予算額	執行済額	予算額	執行済額	予算額	執行済額
学校振興費	65	53	63	14	67	0
小学校管理費	5,121	1,978	5,224	1,996	5,850	2,419
需用費	4,395	1,716	4,651	1,765	5,074	2,058
消耗品費	1,477	840	1,327	745	1,207	610
燃料費	390	24	458	13	379	35
食糧費	4	1	3	0	4	0
印刷製本費	14	0	13	0	14	0
光熱水費	2,510	851	2,850	1,007	3,470	1,413
役務費	243	79	192	42	253	79
備品購入費	483	183	381	189	523	282
小学校教育振興費	14	1	14	0	14	13
合計	5,200	2,032	5,301	2,010	5,931	2,432

小学校での歳出予算科目は、学校振興費、小学校管理費、小学校教育振興費であり、各小学校に対し均等割・学級数割・児童数割等で学校教育課及び教育総務課から一部予算配当を行い、小学校ごとに予算を執行している。

### 3 小学校における主な取組状況

各小学校においては、非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を身に付けた子どもを育むため、第4次とよおか教育プランの基本理念「ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成」に則り、それぞれ重点目標並びに学校運営・教育の方針を具体的に打ち立て、家庭や地域の支援を受けながら、その実現に向けた取組に努めている。

- (1) ふるさと教育は、それぞれの学校で地域と連携・協力して特色のある事業を行っており、地域の一員として何ができるか、何をすべきかについても考え、語ることができる子どもの育成を目指している。
- (2) 英語教育は、全ての小・中学校に配置されているALT（外国語指導助手）と一緒に行われている。就学前の英語遊びを含め、幼児期から小・中学校までの連続性と系統性のある学習を通して「自分のこと」「ふるさとのこと」を英語で話すことのできる資質・能力を育成している。
- (3) コミュニケーション教育は、小学校6年生と中学校1年生を対象に「演劇的手法を取り入れた授業」を全市展開している。子どもたちは、仲間と主体的に関わりながら、コミュニケーションの大切さを体験的に学んでいる。
- (4) 学校では毎月1回「いじめアンケート」を実施するとともに小学校3年生以上の全児童生徒を対象に、学校環境への適応感をはかる心のアンケート「アセス」を実施している。子どもたちの心の状況を客観的にとらえることで、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期対応につなげている。
- (5) 児童生徒や保護者を取り巻く環境の変化や不登校に対する社会の考え方の多様化などにより、不登校の児童生徒数は増加傾向が続き、課題となっている。引き続き、アンケートや教育相談を通して児童生徒の心と体の状態を把握し、こころのケアに努めている。教育研修センター及びこども支援センターと連携しながら、学校を挙げてその対応と解消に努力している。
- (6) 教育用情報機器について、1人1台端末環境の運用面の支援を行うGIGAスクール運営支援センターの設置、老朽化した校務用ノートパソコン端末の更新、ICTを活用した各教科等における学習活動の充実を図るために学習ソフトの試験的な導入を進めている。
- (7) 学校施設の長寿命化改修・大規模改造は「豊岡市学校施設個別施設計画」に基づき、学校施設に求められる機能・性能を維持・確保していくこととしており、令和6年度は、三江小学校で特別教室棟の大規模改造工事、竹野中学校で低学年棟の増築、既存校舎の改修工事に着手している。また、災害時に指定避難所としての良好な生活環境の確保と、利用者の熱中症対策として、竹野中学校を除く中学校8校の体育館に空調設備を整備している。
- (8) 小学校のプールについて、猛暑により計画どおり授業ができない日が増えていること、また、プールの維持管理、水質管理などの業務が、教員にとって非常に大きな負担となっていることから、天候に左右されない計画的な授業の実施、学校教職員の負担軽減、民間等のプール指導員による専門的な水泳指導、安全確保等の観点から校外のプール利用を進めている。
- (9) 学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の一体的な実施に向けた取組を進めている。「コミュニティ・スクール」は、これまで各中学校区1校の計9校で実施してきたが、令和6年度は全ての市立小・中学校に拡充している。

今後も引き続き、少子化の影響からすべての学校において、児童生徒数は減少傾向になるが、引き続き、学校及び地域の特性を活かし、「とよおか教育プラン」の基本理念を実現するため、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を深く自覚し、より強い連携のもと基本理念の共有と実践に努められることを期待する。

#### 4 幼稚園の概要

各幼稚園の概要（令和6年8月31日現在）は次のとおりである。

幼稚園名	設立年度	現施設建設年度	敷地面積	建物延面積	園舎の構造	集会・教室数
出石幼稚園	大正2年度	昭和57年度	3,775m <sup>2</sup>	750m <sup>2</sup>	RC造平屋建	5室
福住幼稚園	昭和18年度	昭和61年度	424m <sup>2</sup>	328m <sup>2</sup>	RC造平屋建	3室

※ RC造は、鉄筋コンクリート造

(単位：人)

幼稚園名	職員数	学級数	4歳児	5歳児	合計
出石幼稚園	4	1	5	8	13
福住幼稚園	4	2	6	11	17

※ 職員数には園長、園務員を含む。

#### 5 幼稚園予算の執行状況

幼稚園へ配当された予算の執行状況（令和6年8月31日現在）は、次のとおりである。

(単位：千円)

区分	出石幼稚園		福住幼稚園	
	予算額	支出済額	予算額	支出済額
学校振興費	4	1	—	—
幼稚園費	2,022	653	501	145
需用費	1,923	627	372	131
消耗品費	309	212	354	122
燃料費	158	17	0	5
食糧費	10	0	12	2
印刷製本費	6	0	6	0
光熱水費	1,440	398	0	2
役務費	99	26	129	14
合計	2,026	654	501	145

幼稚園での歳出予算科目は、学校振興費及び幼稚園費であり、幼稚園に対し、均等割、園児数割等で教育総務課、学校教育課及び幼児育成課から一部予算配当を行い、幼稚園ごとに予算を執行している。なお、備品購入等の一部の予算執行については、幼児育成課等の所管課が直接執行している。

## 6 認定こども園の概要

各認定こども園の概要（令和6年8月31日現在）は次のとおりである。

認定こども園名	設立年度	現施設建設年度	敷地面積	建物延面積	園舎の構造	集会・教室数
資母認定こども園	平成23年度	昭和54年度	1,606m <sup>2</sup>	604m <sup>2</sup>	RC造平屋建	6室
合橋認定こども園	平成23年度	昭和61年度(幼稚園棟) 昭和53年度(保育園棟)	5,197m <sup>2</sup>	819m <sup>2</sup>	木造平屋建(幼稚園棟) RC造平屋建(保育園棟)	6室

※ RC造は、鉄筋コンクリート造

(単位：人)

認定こども園名	職員数	利用定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
資母認定こども園	14	40	0	8	3	4	7	8	30
合橋認定こども園	17	70	1	5	11	4	10	14	45

※ 職員数には園長、給食員、園務員を含む。

## 7 認定こども園予算の執行状況

認定こども園へ配当された予算の執行状況（令和6年8月31日現在）は、次のとおりである。

(単位：千円)

区分	資母認定こども園		合橋認定こども園	
	予算額	支出済額	予算額	支出済額
公立園費	5,097	1,725	6,500	2,611
需用費	4,965	1,693	6,334	2,562
消耗品費	736	329	957	423
燃料費	352	98	368	124
光熱水費	1,310	313	1,360	373
賄材料費	2,567	953	3,649	1,642
役務費	132	32	166	49
学校振興費	4	1	4	1
認定こども園費	—	—	445	90
合計	5,101	1,726	6,949	2,702

認定こども園での歳出予算科目は、公立園費、学校振興費及び認定こども園費であり、認定こども園に対し、均等割、園児数割等で教育総務課、学校教育課及び幼児育成課から一部予算配当を行い、認定こども園ごとに予算を執行している。なお、備品購入等の一部の予算執行については、幼児育成課等の所管課が直接執行している。

## 8 幼稚園・認定こども園における主な取組状況

各幼稚園・認定こども園においては、豊岡市子ども・子育て支援事業計画の基本理念「子どもが元気に育つまち・子育てが楽しいまち 豊岡」を実現するため、それぞれ教育・保育目標を具体的に立て、家庭や地域の支援を受けながら取り組んでいる。

(1) 各幼稚園・認定こども園においては、第2次就学前の教育・保育計画「スタンダード・カリキュラム」を基本とし、それぞれの園で教育保育理念を定め、年齢に応じた年間指導計画のもと、発達段階に合った教育保育がなされている。

- (2) 幼児期に身につけるべき基礎力の育成に向けた「運動遊び保育」や就学前に英語に慣れ親しむことを目的とした「英語遊び保育」を展開するとともに、やり抜く力、挑戦意欲、協調性といった非認知能力を育む教育保育が実践されている。
- (3) 園外保育を通じて地域の自然に触れ親しむなどの様々な体験や近隣の就学前施設及び小学校並びに地域の各年代層の住民との交流を実施しており、園の行事として定着が見られ、地域とのコミュニケーションが図られている。
- (4) 遊具の点検については、職員が定期的に目視及び打音検査等による点検を実施している。また、3年ごとに専門家による一斉点検を実施するなど、安全管理に努めている。
- (5) 小学校入学予定幼児が安心して入学できるよう、就学ガイドブック「わくわくどきどき1年生」を作成し、小学校入学にかかる保護者のいろいろな不安や心配の解消に努めている。

幼児期の教育及び保育の充実は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要なものである。引き続き、望ましい生活習慣の定着へ向けての保育、特色ある幼児期の教育への取組を期待する。

## 9 放課後児童クラブの概要

各放課後児童クラブの概要（令和6年8月31日現在）は次のとおりである。

放課後児童クラブ名	現施設建設年度	保育室の延床面積	建物の構造	使用保育室数	備考
八条放課後児童クラブ	平成26年度	119.33m <sup>2</sup>	木造平屋建	2室	専用施設
弘道放課後児童クラブ	昭和57年度	275.36m <sup>2</sup>	RC造平屋建	3室	出石幼稚園の保育室2室と遊戯室を共用

※ RC造は、鉄筋コンクリート造

(単位：人)

放課後児童クラブ名	職員数	幼稚園	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
八条放課後児童クラブ	9	—	19	18	12	11	7	3	70
弘道放課後児童クラブ	9	12	21	18	12	2	0	0	65

## 10 放課後児童クラブ予算の執行状況

放課後児童クラブの予算は、幼児育成課で直接執行しており、予算の執行状況（令和6年8月31日現在）は、次のとおりである。

(単位：千円)

区分	予算額	支出済額
放課後児童クラブ運営費	164,680	69,552
報酬	109,590	64,073
報償費	50	25
旅費	46	14
需用費	11,205	1,914
消耗品費	2,429	755
燃料費	644	55
印刷製本費	44	0
光熱水費	8,088	1,104
役務費	3,819	1,656
委託料	8,671	1,209
使用料及び賃借料	428	48
工事請負費	30,161	187
備品購入費	710	426
合計	164,680	69,552

## 11 放課後児童クラブにおける主な取組状況

放課後児童クラブは、保護者が、就労や病気等の理由で昼間家庭にいない児童のために、遊びを中心とした放課後の生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的とし、全小学校区で開設している。

- (1) 本来は小学生が対象の事業であるが、受入れに余裕がある場合は、留守家庭の幼稚園児も特別利用者として受け入れている。
- (2) 幼稚園児の放課後児童クラブの使用料は、幼児教育・保育の無償化の対象ではないが、無償で保育所・認定こども園に通う4歳児と5歳児との均衡性を保つため、独自に公立の放課後児童クラブを利用している幼稚園児の使用料を無料としている。

## 12 学校再編、就学前施設、放課後児童クラブの再編・統合

- (1) 令和3年12月、子どもたちにとってより良い教育環境の整備と教育内容のさらなる充実を目的として、豊岡市における小中学校の適正規模・適正配置の考え方と、それを実現するための学校再編の進め方や再編の枠組みを示すものとして「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画」を策定している。計画は、令和4年度から令和13年度の10年間である。
- (2) 令和6年3月に寺坂小学校が閉校し、4月に福住小学校へ統合している。
- (3) 令和3年2月、増加する保育ニーズと少子化の進行に伴い生じる「待機児童の発生」「保育士等の不足」「適正規模の子ども集団を確保できない就学前施設(幼稚園・保育所・認定こども園)の増加」といった課題を総合的に解決するため、今後の目指すべき基本方向や、実現するための具体的な方策(就学前施設・放課後児童クラブの施設整備の方向性など)を示すものとして、「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」を策定している。計画は、令和3年度から令和12年度の10年間である。
- (4) 令和6年3月に日高幼稚園が閉園、4月に蓼川保育園(私立)が蓼川こども園に移行している。
- (5) 令和6年3月に寺坂幼稚園が閉園し、4月に福住幼稚園へ統合している。

- (6) 令和6年4月に日高放課後児童クラブと日高第2放課後児童クラブを統合している。  
統合後の日高放課後児童クラブは、専用施設化した旧日高幼稚園舎に開設している。
- (7) 令和6年3月に寺坂放課後児童クラブを閉所し、4月に福住放課後児童クラブへ統合している。

## 第7 監査の総括及び所見

内部統制の有効性及び妥当性並びに合理性の観点から、指導事項等については、以下のとおりである。

### ＜共通事項＞

小学校、幼稚園、認定こども園及び放課後児童クラブの共通の指導事項等については、次のとおりである。

#### 〔指導事項〕

- (1) 例月現金出納検査の結果において通知している支払遅延等、不適正な会計事務執行により市民に不利益を与える事態を招くことのないよう、職員の意識改革を図るとともに、組織内の相互牽制機能を発揮し、組織の機能充実・チェック体制の強化等により、適正な事務の執行に努められたい。

また、不十分な引継ぎにより事務が停滞することのないよう、事務引継ぎを確実に行われたい。

#### 〔要望事項〕

- (1) すべての学校園等に「防犯マニュアル」などが整備されていた。引き続き、警察署と連携し、不審者対応訓練、さすまた訓練等の訓練を年1回程度、計画的に実施し、安全管理に努めていただきたい。また、ボタンを押すと兵庫県警につながる「県警ホットライン」を使用した訓練等の実施については、一部の小学校で2年以上実施されていなかったため、万が一に備え、教育委員会と連絡調整を行い、年1回程度は計画的に実施していただきたい。
- (2) 施設の小規模な修繕については、今年度から導入された公共施設の包括管理業務の中で行われており、学校園等と教育委員会双方の事務の省力化につながっている。包括管理業務の委託業者と調整しながら、園児・児童の安全を最優先に、必要箇所の危険度等を考慮しながら修繕を実施するなど、適切な施設管理を行うよう要望する。
- (3) 学校徴収金の取扱いについては、学校徴収金事務取扱要綱の規定に基づき、適正かつ効率的な事務処理及び会計事故の未然防止を図られたい。また、同要綱第13条第1項の規定に基づく毎年1回の監査を確実に実施されたい。

### ＜小学校＞

小学校における注意事項等については、次のとおりである。

#### 〔注意事項〕

- (1) 一部の小学校で処分済の備品が備品台帳から抹消できていない案件が見受けられた。また、備品台帳に登録されていない備品が存在する案件も見受けられた。定期的に備品台帳と現物の照合作業を行い、適正な備品管理に努められたい。

### 〔要望事項〕

- (1) 理科実験用の薬品の管理について、各学校とも保管台帳を整備し、保管場所を施錠するなど適正に管理されているが、盗難・事故等の発生防止の観点から、定期的な薬品の保管量・施錠状況の確認の実施、薬品の取扱いを許可する職員を少人数に限定するなど、更に薬品の適正な管理に努めていただきたい。
- (2) 学校給食徴収金について、滞納が発生している小学校があった。適切に督促及び催告を行っており、翌年度まで残ることはないと聞き取りを行ったが、引き続き、「豊岡市債権に関する条例」及び「豊岡市債権管理マニュアル」に基づき、台帳整理、交渉経過等の記録など、適切な債権管理を行っていただきたい。

### ＜幼稚園＞

幼稚園における指導事項については、次のとおりである。

### 〔指導事項〕

- (1) 一部の幼稚園において、園長名義で管理する通帳に少額の不明金が残っていることが判明した。不明金を長期間放置することは不適切であり、雑収入として処理するなど、適切な方法で不明金を処理されたい。

### ＜認定こども園＞

認定こども園における注意事項については、次のとおりである。

### 〔注意事項〕

- (1) 一部の認定こども園において、今年度の郵券管理簿が未作成であった。帳簿類については、新年度開始前に整備するなど、適切な事務に努められたい。
- (2) 一部の認定こども園において、修繕が必要な箇所として調理室の床の剥がれがあった。衛生上にも問題があるため、早急な対応をされたい。

### ＜放課後児童クラブ＞

放課後児童クラブにおける指導事項等については、次のとおりである。

### 〔指導事項〕

- (1) おやつ代等の放課後児童クラブ利用者からの徴収金について、通帳・金庫等を使用せず、支援員が現金で管理していることが判明した。支援員の心理的負担になっており、紛失・盗難及び横領の恐れもあることから、徴収金の管理方法について改善を図り、リスクの低減に努められたい。
- (2) 補助員の報酬の支払い誤りが散見している状況である。月締めによる出勤データの提出前に複数の職員による確認を徹底するなど、チェック体制を強化し、支払い誤りを未然に防止する取組みを実施されたい。

### 〔要望事項〕

- (1) 一部の放課後児童クラブにおいて、防犯カメラが未設置であった。防犯カメラには、犯罪の抑止に繋がる、施設利用者に安心感を与える、事件発生時には録画映像で事件の早期解決に繋がるといった効果が期待できるため、防犯カメラの設置について検討していただきたい。また、さすまたの増設についても検討していただきたい。

(2) 一部の放課後児童クラブにおいて、児童1人あたりの保育室の面積が厚生労働省が示す参酌すべき基準 $1.65\text{m}^2$ に対し、約 $1.70\text{m}^2$ で基準値ぎりぎりの状況である。実際の現場の状況を確認したが、余裕がないように感じられた。このような保育環境が少しでも改善されることを要望する。